

町田市議会議員 **3期連続トップ当選**

# 吉田つとむ

若者育成の街◆良識ある保守主義



ブログ



HP

メールは  
左記を読込  
して送信



インターン生募集中

## インターン体験記⑦-3 佐々木愛花梨

財団法人である日本青年館を訪問させて頂きました。日本青年館は大正時代に始まった明治神宮の造営にあたり全国各地の青年団からのべ11万人におよぶ青年たちがボランティアで協力したことがきっかけとなり始まった財団です。以来、青年の宿泊施設として大きな役割を果たしながら、全国の青年団活動を支援するとともに豊かな地域を実現するために、スポーツや文化・芸能・音楽など様々な分野をリードする青年たちを育て、応援している団体です。イベントごととしては若者サミットや清溪セミナー、コンサートの開催など、本当に様々な公益事業を行っていることを教えて頂きました。地方のほうがかむしろ青年団の活動は盛んで、地域で頑張っている若者を応援することを理念としています。宿泊施設に関してはなんと収益の10%を公益活動に使っているということで、非常に驚きました。また、コンサートに関しては「本当に良い音楽を提供したい」ということで本場ウィーンから音楽家を招く、高校生のオーケストラに対して敢えて賞をつけない、など公益活動や文化活動に惜しみなく力と愛を注いでいることがよく伝わってきました。また、「社会教育」というタイトルの雑誌を毎月刊行しており、しかもその雑誌の編集をほぼ2人で担当しているそうです。日本の若者のこれからを思って活動していることを知り、この方々の活動のおかげで若者の未来がより良く明るいものへとなっているのだなと感じました。



昭和女子大学3年 佐々木愛花梨(第46期生)

## インターン体験記⑫ 中里 叶夢

清溪セミナー2日目で特に印象に残るのが中川智子氏(宝塚市長)のお話です。宝塚市では「性的マイノリティに寄り添うまちづくり」に取り組んでいます。2016年5月に同性カップルがパートナーシップを宣誓した際、受領証を交付するための要綱を制定しました。同様の取り組みは全国の自治体で4例目であったといいます。



当時、渋谷区では「条例」の制定に至っていたのに対して、宝塚市では「要綱」の制定にとどまりました。中川市長は「宝塚市での同性パートナーシップに関する条例制定はハードルが高いものだった」と当時を振り返り、要綱の制定後には約2000通の反対メールが届いたと語っていました。議会を通さないため強行的ともとれる要綱制定は独断で進めたという捉え方もできますが、市民に直接選ばれた首長だからこそできた決断と捉えることもできます。同市では2019年3月、条例に性的少数者への差別禁止を明示しました。これは中川市長の決断が議論を活発化させた結果でもあると思います。

私は多様性を尊重する方針を条例で明示できる自治体を魅力的に感じます。また、転居時にそうした点を重視する方も少なからずいると思います。魅力あるまちづくりと多様性の尊重は切っても切れない関係にあると感じました。

**玉川大学3年生 中里 叶夢(第44期生)**

\*中里叶夢さんは昨年の研修生ですが、私が参加する「清溪セミナー」(超党派地方議員の研修会)に今年も手伝い、参加したものです。

★吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、町田市役所のインターンシップ受け入れや、中学生の職場体験に先行実施

★大学生・院生を対象に、議員活動に同行することを通じて社会勉強を支援しています。

訂正:前号の発行号数をvol.500としましたが、vol.450でした。今号で訂正させていただきます。

町田市議会議員 **良識ある保守主義**

# 吉田つとむ

交通文化都市◆取材・記事作成・総合編集

町田市議会

〒194-8520 東京都

町田市森野 2-2-22

☎042-724-2171

「保守の会」派室

自宅 042-795-7361

FAX 042-795-2726



町田市議会議員

## マニフェスト大賞で町田市議会が受賞

早稲田大学マニフェスト研究所が、毎年実施している、議会改革度調査 2019

(2020.06.17)において、町田市議会は、兵庫県西脇市議会、北海道芽室町議会に続いて、全国第3位につけています。

このたび、第15回マニフェスト大賞が発表されました。(主催：マニフェスト大賞実行委員会、共催：同所)その際、町田市議会は部門賞の一つである「最優秀コミュニケーション戦略賞」を受賞しました。

受賞対象となったものは、審査した議案の審査状況を議案のカルテとしてまとめたものです。その具体的な特徴は、個別の議案の審査状況を「議案のカルテ」として制作し、インターネットで公開していることです。会議ごとではなく、議案ごとにまとめています。本会議での委員長報告(口頭の壇上発言)をカルテに記載することで、委員会での議論内容を細かく示しているのも議案のカルテの特徴です。インターネット公開によって、いち早く市民に情報を届ける手法を採用しています。もとより、ネットに長けた個別議員のSNS情報は個人の感想が入っていますが、もっと客観的で早い情報がアップされています。



傍聴席も議員席に使用(第3定例会まで)

## 外国人が帰化し、議員として活躍する姿

愛知県犬山市のビアンキ・アンソニー議員(5期目・前議長)の講義を清溪セミナーで聞きました。議会の改革で大きな貢献をしてきたことで今回の講師となったものです。そのビアンキ議員は、意外と安定して選挙に強いという特徴(3位以上)がありました。物珍しさから(また、日本人は何でも白人に優しい)をも考慮しても連続は難しいものです。来日して以来、地域で英語教育に携わったことで、多くの教え子が社会人となっているからでしょう。



ビアンキ議員は、一般市民が本会議場で、「市民のフリースピーチ」を提唱し、それを実現し、提案事項を議会の協議事項に加えたり、議員の一般質問に活かす方法を採用させているそうです。市民が行政に何度も話を入れたが全く進展がないというケースで市民の「フリースピーチ」に登場する例がありました。公の場で課題として提起された内容が、議員間協議の対象にされ、行政への要求につながる例の話が印象に残りました。市民はこうした経験を重ね、行政とは一線を引いた議会の在り様を受け止めてくれるものと思いました。

★ 支持政党なし・市議会は「保守の会」

[yoshidaben@gmail.com](mailto:yoshidaben@gmail.com)URL <https://yoshidaben.jp/> 動画 <https://jp.youtube.com/yoshidaben>

メール送信

編集者 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイトE103-13 吉田つとむ(自宅)